



第二代学部長  
森田平治郎

森田平治郎 (MORITA Heijiro) (1891~1969)

1891年6月5日 京都市出生、1969年7月8日大阪府枚方市死去。

教育： 旧制第三高等学校を経て1915年7月、東京帝国大学農科大学獣医学科卒業。引続き東京帝大医科大学病理学教室にて大学院生として研修。

経歴： 1917年釜山の朝鮮総督府牛疫血清製造所嘱託、1918年同獣疫血清製造所技手、翌年同技師。1920年伝染病研究所細菌学一般及び獣疫学研究業務嘱託。1925年11月東京帝国大学農学部実科(東京農工大学の前身)講師嘱託、1926年4月東京帝国大学農学部講師嘱託、同年10月農林省獣疫調査所技師。1928年7月家畜伝染病に関する病理学研究のため満1年間、ドイツ・イギリスの2国へ出張。1932年4月麻布獣医専門学校講師、1934年4月同校教授。1939年3月大阪府立農学校教諭、1942年3月大阪高等獣医学校教授(1945年大阪獣医畜産専門学校と校名変更)、1947年8月同校校長。1949年4月浪速大学(農学部)教授、同年農学博士(東京大学)。1953年4月第2代農学部長。1955年9月大阪府立大学と名称変更、引続き農学部教授。1961年3月停年退職、同年7月大阪府立大学名誉教授。

業績： 家畜病理学を専攻し、特に1925~28年、国内各地に流行し多大の被害をもたらした牛肺疫に関して詳細長文の論文を記述して、本病の病理解明並びに防疫に大きく貢献し、後に学位論文となった。堂々たる体格の博士はその生涯の大半を獣医学教育に捧げ、高潔な人格、深遠な学識、緻密な授業計画、加えて教育への強い熱意はおのずから学生に感得され、畏敬の念を抱かせた。とりわけ1939年、大阪府立農学校着任以降、大阪高等獣医学校(後に大阪獣医畜産専門学校と改称)への昇格に尽力するところ極めて大であった。更に甚大な戦災被害のため、いずれは廃校かと危惧された状況下、敗戦後の混乱した世情、不便極まる交通事情など幾多の困難を克服し、度々文部省あるいは国会議員に陳情して新制大学設立を果たし、大阪府立大学獣医学科の基礎を確立した。博士をリーダーとする当時の教職員の努力なしには、同学科は存在しなかったであろう。病理学に加えて解剖学も担当し、既成解剖学書の不備を指摘するなど、厳密な講義であった。他方、第27回(1950年)、第36回(1953年)、第50回(1960年)と3度に亘り会長として日本獣医学会を主催するなど、同学会に大いに貢献した。

著書： 森田平治郎著 家畜病理学総論 上下2巻 克誠堂 改定3版(1941)。

論文： 森田平治郎・東胤弘 牛肺疫ノ病理解剖学的知見補遺 獣疫調査所研究報告 11：231~319(1928)、他。

参考文献： 望月宏・橋本善之 森田平治郎先生を偲ぶ 獣医畜産新報 506号32頁(1969)。

望月 宏 (MOCHIZUKI Hiroshi)